

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	再開発課担当課長 宇高 毅	
拠点-02	実施事業	古都中心市街地整備事業	自治事務	主管課 再開発課
			法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。
効果	鎌倉駅西口駅前広場等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口の創出を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、用地測量、不動産鑑定等を行った。
・鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、権利者との調整及び関係機関等との協議を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算	備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	
事業の対象者数					事業の対象者数		・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	4	3,154		当初予算(千円)	37,656	
	国県支出金				国県支出金		
	地方債				地方債		
	その他				その他		
	一般財源	4	3,154		一般財源	37,656	
	人員配置数	1.3	1.3		人員配置数	1.7	
事業経費運営	人件費(千円)	9,730	9,972		人件費(千円)	13,026	
	総事業費(千円)	9,734	13,126		総事業費(千円)	50,682	
	市民1人当りの経費(円)	55	74		市民1人当りの経費(円)	287	
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備は、一部権利者の合意が得られておらず、当面、事業の実施は困難であるが、鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備を行っていくことになったことから、今後、事業の進捗に合わせ一定の費用が必要であるため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・「鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画」に基づき、鎌倉駅西口駅前交通広場を中心とした整備と建物共同化事業の検討を進めてきたが、一部権利者からの反対で事業が止まっている。反対権利者への調整は継続しているが、合意への見通しは立っておらず、現在に至っている。 ・そのため、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、観光客と市民とが共存できる快適な空間を整えるため、時計台広場の再整備を行うこととしているため、予算規模の方向性はAとした。 ・全体計画となる鎌倉駅西口周辺整備については、権利者の状況及び周辺の環境の変化を勘案し、事業手法を研究していく必要があり、有効性は2とした。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	全体計画となる西口周辺整備としては、継続的に権利者調整を進めているものの、一部権利者との合意には至っていない。 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備にあたっては、整備に必要な全ての用地取得を検討しているが、建物所有者からは一部取得の同意しか得られていない状況にあるため、全部取得を前提として交渉を継続していく必要がある。
課題解決のために行った平成28年度の取組	全体計画となる西口周辺整備については、継続的に関係権利者へ情報提供等を行った。 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた権利者対応を行うとともに、事業実施に向けた調整を行い、事業スケジュールの作成を行った。 ☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	全体計画となる西口周辺整備については、継続的に権利者調整を進めているが、一部権利者との合意形成には至っていない。 暫定的整備については、用地取得を予定しているが、借地権者等と取得可能箇所の協議が必要である。 また、当該整備地は、極めて限られたスペースであり、どのような機能を導入・配置するか検討が必要である。

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

[illegible]

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	
---------------------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		関係権利者との合意形成					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	権利者36人 賛成者13人		
事業実施に向けて関係権利者と合意形成を図る必要があるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	36.1	36.1	36.1							
	達成率	36.1%	36.1%	36.1%							

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	粘り強く権利者と交渉しているが、事業実施への賛同は得られていない状況である。
-----------------------	--